

糖尿病透析患者における麦ごはん摂取の有用性

長崎腎病院

○山下万紀子 北村 舞 小江桃子 一ノ瀬 浩 佐々木 修 澤瀬健次
橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【背景】

耐糖能異常・脂質異常症や便秘症に対する水溶性食物繊維の有用性が報告されており、近年本邦では麦ごはんが注目されている。

【目的】

糖尿病血液透析患者における麦ごはんの有用性を検討する。

【対象・方法】

入院中の糖尿病透析患者 8 名の昼食に麦ごはんを提供、開始前と 5 週後の血清パラメータと排便回数を比較した。白米と麦の割合は 8:2 とした結果、1 日 1.0g の水溶性食物繊維の増加となる。

【結果】

麦ごはんに変更 5 週で、GA は変化しなかったが、HDL-C は 47.7 ± 16.0 mg/dL から 61.2 ± 20.4 mg/dL に、週当たりの排便回数は 7.9 回から 11.9 回と有意に増加した。また、CRP は 2.3 ± 3.3 mg/dL から 0.3 ± 0.3 mg/dL に有意な低下をみた。

【考案】

昼食のみ麦ごはんへ変更したところ 5 週後で変化が観察され、同食事療法の有用性が示唆された。